

政治家の新しい仕事のあり方

政治家の仕事とは何か？従来であれば、市民からの要望がある。陳情がくる。それを捌くのが政治家の仕事だと思っっている方がいます。役所に電話する。政治家本人が出向く。そして個別対応をする。困った人を政治家のルートを通じて個別処理をする。：誤解を恐れず言いますが、この一連の流れは政策的対応とは全く別のものです。利益集団から要望があった際「予算をつけてくれ！」と役所に伝えます。そういう対応をする事が政治だし、政治家の最大の醍醐味だと思っっている方がいるかも知れませんが、そうではありません。この今の現状を変えていかなければなりません。今までは、例えば「政権をとったA党。B団体の要望↓予算をつける」「やっとな政権交代をしたC党。D団体の要望↓予算をつける」という形で処理の仕方は全く同じでした。そうではなく、要望・問題を吸い上げ、まとめあげて、それを政策レベルにどう結びつけるか。これが最も大切であり、問われる社会にしていくな必要があります。市議会議員に当選させていただいてから7年目に突入している今、現状の社会をより良くする。より一段上の社会にする方法を考える際、陳情をただ処理する反射神経だけではすまなくなっていると感じます。政治家にしる、場合によっては市民ひとりひとりにとっても「政策をつくる技術」これが大切です。市民にとっては「陳情のあげ方」議員にとっては「陳情の通し方」これは、問題の根本的な解決にならないです。今を転換点にしたいです。そして、これは市民だけでなく、政治家も考えなければならぬ重要な問題です。vol.24「市議会議員のあるべき姿と嘘」で述べましたが「誤解を恐れず言いますが、議員や議会に内部規範は存在しません。（※先例集はある。）だからこそ、0からの思考により、社会的に大きな変化を起こしていく事が肝要。」この点を意識して、肝に銘じて、取り組んでいきます。今回、難しいテーマである事は重々承知しています。ただやはり、言いたい事はひとつです。「ベストな状態の市川市」を話し合っして下さい。個々人の想いが集まれば、良い社会が形成されていくと信じています。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成29年6月16日

増田好秀